

雨飾山（1963M）

日時 2012年8月12日（日）～13日（月）
参加者 福澤卓三
記録 雨飾高原キャンプ場（6：00）～荒菅沢出会（7：40）～
笹平（9：10）～頂上（9：50～10：50）～雨飾山高原キ
ャンプ場（14：30）

登山ルートは長野県側からと新潟県側からあり、今回は長野県側からの登山口である小谷温泉側から登ることにした。

12日に、車で東京を8時に出発し渋滞に巻き込まれながら、小谷温泉街と雨飾荘を通過して15時に雨飾高原キャンプ場まで入った。オートキャンプ場にもなっていて、駐車場もキャンプサイトもよく整備されている。台地の上にある事務所でキャンプ代を払い、運転の疲れをいやしながら、軽く夕食を済ませて早めに睡眠をとった。

4時に起床する予定であったが、5時になってしまった。軽く朝食をとり雨が降りそうだったので、テントを車の中に入れて、6時に出発した。

しばらく、よく整備された木道をすすみ、登山道に入るが、結構急登である山腹を登り、約2時間弱で荒菅沢に下る道に出る。



荒菅沢の雪渓

荒菅沢からは、頂上が見えるはずであるがガスで見えなく残念である。今年は雪が多く、雪渓は長く深く残っている。荒菅沢を横切り、ここからは頂



駐車場の奥の登山口

上へ分岐する稜線をめざし、樹林帯を抜け急登な登山道を登っていくと、雨が降ってきて雨具をだした。ザックは軽いですが、足取りは重く1時間半くらいかかってしまった。

頂上へ続く稜線は笹平というように笹が多く、最後に頂上直下の急な道を登ると頂上である。頂上は南峰と北峰の双耳峰になっている。

この山は、とてもよい山である。ブナ林も高山植物も多い。今回はガスで見えなかったが見晴らしもよい。ここから海谷三山の一つである駒ヶ岳の写真を撮りたかったが残念であった。

南峰頂上



北峰頂上



下山は、少し下り新潟県側の登山道である梶山新道を左にみて、海谷三山に続く分岐を右に進んで高山植物の写真を撮りながら同じ道を下った。下りは急な登山道のせいもあり、意外と時間がかかる。木道の下の小川には岩魚がいて逃げない。虫を投げたらパクッと食べた。この日の宿は登山中に知りあった古民家の民宿（梢の雪）の従業員の所に1泊した。夜無料の露天風呂に行ったが、いい湯だったけどアブにいっぱいさされた。

以上